

# 聖

六年

画数 13  
筆順

丁 耳 取 聖  
七 イ

成の立ち



「耳」と「口」と「王(1年6)」との三つの字を組み合わせて作った字です。

「耳」と「口」とに最もすぐれた人」を表した字です。人の言うことがよく理解でき、人を教え導くことに最もすぐれた人のことです。

ちえがすぐれ、行いがりっぱで、人類の手本となる人のことを表したことばです。中国で「聖人」と言えば、孔子のことです。世界の聖人と言えば、孔子、釈迦、キリストで、三聖と言われます。ある方面で最高の人を言うのに使われます。【例】詩聖、樂聖、画聖。

〔本字は「聖」で、耳と呈(本字は呈)との会意・形声字である。〕

使い方

▽オリンピック大会は、発祥の地、ギリシャから聖火が沿道の国々の選手たちによって運ばれて来るのですから、何と言っても他の競技とは大変ちがった雰囲気があります。

▽東京お茶の水にある聖堂は大聖孔子を祭った所で、今でも孔子の教えをここで学ぶことが、だれでもできるそうです。

熟語例

▽聖火(神聖な火。ギリシャの神前で、太陽の光で着火され、その火はオリンピック開催地まで運ばれ、競技が終わるまで燃え続けます。)

▽聖堂(聖人である孔子を祭った堂。(4591)。また、キリスト教の礼拝堂のこと。)

▽大聖(偉大な聖人、という意味のことばです。)

▽神聖(神々しいこと。尊くおごそかなこと。)

▽詩聖(最高の詩人。中国では杜甫のことです。)

▽歌聖(最高の歌人。わが国では、柿本人麻呂のことを言います。)

▽樂聖(最高の音楽家。ベートーベンのこと。)

# 誠

六年

画数 13  
筆順

言 訃 訃 誠  
オ ン セ イ  
フ ン ま こ と

成の立ち



「成功」という意味を表した「成」と、「ことば」の意味の「言」とを組み合わせて作った字です。

「かならず」成功「する」ことば」という意味の字です。「真心から出たことば」「真実のことば」はかならず多くの人々の信頼を得て成功します。

「真心から出たことば」「真実のことば」を「真言」と言います。「誠」は「真言」を表した字です。

「信(4551)」も「真言」ですが、主として行為について使い、誠は心について使います。

「実(3317)」は「真事」の意味の「まこと」です。

六年

使い方

▽わたしは、友だちに対しては誠実でありたいと思います。というのは、昔、友だちだと思っていた人に、裏切られたことがあって、ずいぶん悲しい思いをしたのです。自分は絶対そんなことはしない、誠心誠意で友だちに対したい、と思っています。

▽ぼくのおじいちゃん鉢植えを育てています。とくに、らんの種類を丹誠こめて栽培しています。らんはともきれいですが、育てるのはむずかしいそうです。

熟語例

▽誠実(真心があり、まじめなこと。)

▽誠心(真心)

▽誠意(真心。正直で、嘘いつわりのない、まじめな心)

▽丹誠(真心。また、真心をこめて何かをすること。「丹精」とも書きます。)

▽忠誠(主人に誠実に仕える真心。「昔の武士は、主君に忠誠をちかつたものでした」などというふうに、つかいます。)

▽至誠(至上の誠意。この上なく誠実な心。「あの人は、至誠の人だ」などというふうに、つかいます。)